

米国特許取得企業ランキングで世界第5位・日本第1位 38年連続で世界5位以内を維持

米国の特許専門調査会社 IFI CLAIMS パテントサービスによると、2023年に米国特許商標庁（USPTO）に登録された特許数（速報値）は、キヤノンが5位となり、38年連続で世界5位以内を維持しました。これは、世界の企業で唯一、キヤノンが達成した記録です。また、日本企業においては、19年連続1位となりました。

キヤノンでは、日本国内はもとより海外での特許取得も重視しており、地域ごとの事業戦略や技術・製品動向を踏まえた上で特許の権利化を推進しています。特に米国は、世界最先端の技術をもつ企業が多く市場規模も大きいことから、米国での特許出願については、事業拡大、技術提携の双方の視点から注力しています。

■ 米国特許取得件数における世界企業・日本企業中のキヤノンのランキングおよび特許取得件数（直近10年）

年	世界企業ランキング	日本企業ランキング	取得件数（件）
2023年	5位	1位	2,890
2022年	5位	1位	2,694
2021年	3位	1位	3,021
2020年	3位	1位	3,225
2019年	3位	1位	3,548
2018年	3位	1位	3,051
2017年	3位	1位	3,284
2016年	3位	1位	3,662
2015年	3位	1位	4,127
2014年	3位	1位	4,048

* 2021年～2023年の特許取得件数はIFI CLAIMS パテントサービスの発表（2024年1月10日時点）に基づく。2014年～2020年の件数は米国特許商標庁（United States Patent and Trademark Office, USPTO）の公開情報に基づく。

キヤノンは、プリンティング、イメージング、メディカル、インダストリアル の 4 つの産業別事業グループにおいて、日々新たな技術の創出に取り組んでいます。各事業の競争力の強化に加えて、近年では、最先端 SPAD センサー、フォトンカウンティング CT、ディープラーニングを活用した画像処理技術、商業印刷用の次世代技術、ナノインプリントリソグラフィ技術など、事業のベースとなり、応用・転用が可能な基盤要素技術の開発にも注力し、特許出願においても重視しています。事業を支えるコアコンピタンス技術の特許出願・権利化はもちろんのこと、時代を見据えてさまざまな分野の技術についても特許出願・権利化を行うことで、強い特許ポートフォリオを構築し、事業の競争優位性・自由度を確保しています。

今後も知的財産活動によって事業を支え、付加価値の高い製品・サービスを提供し、より良い未来社会の創生に貢献していきます。